

彦根市総合教育会議 会議録要旨

平成 29 年度第 5 回彦根市総合教育会議	
日 時	平成 30 年 3 月 28 日（水） 午後 2 時～午後 3 時
場 所	彦根市民会館 第 3 会議室
出 席	彦根市長 大久保 貴 教育長 善住 喜太郎 教育長職務代理者 小松 照明 委 員 本田 啓子 委 員 永濱 隆 委 員 西川 孝子
欠 席	なし
議事次第 1 議題 (1) 彦根市教育大綱について (2) 次年度のスケジュール案について (3) その他	

○企画振興部長 大変お待たせいたしました。本日はお忙しい中、御出席いただきまして、まことにありがとうございます。ただいま平成 29 年第 5 回彦根市総合教育会議の本会議を開催させていただきます。本日の進行を務めさせていただきます企画振興部長の馬場でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは次第に沿いまして進めてまいりたいと思いますが、本日は平成 29 年度までの期間となっております現行の彦根市教育大綱につきまして、これまでの会議で協議等をいただきました意見などを反映いたしまして、平成 30 年度からの新たな大綱案を作成いたしましたので、決定してまいりたいと考えております。

それでは早速ではございますが、改定案につきまして事務局より説明させていただきます。

○事務局 お手元にお配りさせていただいております彦根市教育大綱案をご覧ください。現行の教育大綱については 3 月末までの期間となっておりますことから、平成 30 年度からの大綱の作成におきましては、これまでの教育大綱に市長公約にも掲げられておりました保幼小の連携を図った就学前教育の充実について盛り込むこととして、調整協議等をいただきました。また、協議等をいただく中で、保幼小の連携、就学前教育の充実のほか、保育環境の整備に関しましても大綱へ盛り込むこととしてご意見をいただいたところでございます。そうしたことから大綱の記述や配置につきましても、あわせてご意見をいただき、

調整をさせていただいたというところで、今回お示しさせていただいています改定案を作らせていただきました。

これまでの大綱からの改定箇所につきましては、開いていただきますと2ページ目の期間の部分ですが、こちらにつきましては、市長の任期となります平成33年の年度末までということで、30年度から33年度までの4年間と定めております。あと追加する項目でございますけれども、3ページですが、基本目標のところへ盛り込むこととしております保幼小の連携を図り、幼児教育の充実に努めることを1番目に採用して、保育環境の整備に関しましては、既に4番目で教育環境の整備という部分がございますので、そちらに保育という部分を追加する形で整理をしたところでございます。簡単ではございますが、これまで協議をいただきましたご意見等を踏まえまして、整理をいたしましたところでございます。

以上です。

○企画振興部長 それでは改定案につきましては、今ほど説明のありましたとおり、これまでの協議や意見等を含めまして作成したところでございますが、特出すべきこと等ございましたら、ご意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○小松教育長職務代理 はい、以前、論議された内容に沿っていると思いますので、いいと思います。

○企画振興部長 ありがとうございます。

それでは、平成30年度からの彦根市教育大綱につきまして、この改定案で承認をいただき、確定といたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○小松教育長職務代理 済みません。市長の挨拶文の挿入というのはいつごろになりますか。来月ですか。

○事務局 今回、大綱の趣旨以降の文については、ご協議いただいたところですが、「はじめに」の市長の挨拶文については事務局で調整をさせていただいておりますので、それを含めた形のを教育委員の皆様にもまた、お示しさせていただきます。年度内中に広報やホームページ等で、周知等をしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

○企画振興部長 それでは、この大綱に関しましては、事務的な手続を踏まえまして近日中に、ホームページ等で周知させていただきたいと思います。

続きまして、次の議題であります次年度のスケジュール案につきまして進めてまいりたいと思います。それでは、事務局より説明をお願いしたいと思います。

○事務局 それでは、平成30年度総合教育会議スケジュール（案）という資料をご覧くださいと思います。次年度のスケジュール案といたしましては、資料に記載しておりますとおり、今年度同様に年5回の開催を予定しております。ただし、緊急な事案の発生等で追加開催もあるということをご了承いただきたいと思います。第1回目につきましては、5月下旬から6月下旬の間で開催を予定しております、議題といたしましては30年度のスケジュールに関することと、そのほか1題を予定しております。第2回目以降については、資料のとおりでございまして、おおむねの開催月を記載しております。

次年度の予定議題といたしましては、資料の中段以降に掲げておりますが、例年の固定テーマといたしまして、第3回目に全国学力・学習状況調査の結果について、第4回目に翌年度の予算重点事項についてを議題とする予定でございまして、各回1題ないし2題のテーマで進めていく予定で考えております。また、例年の固定テーマ以外の予定議題としまして書かせていただいておりますが、教員の働き方改革についてということと、英語教育についての2題を挙げております。まず教員の働き方改革につきましては、現在国においても最重点的な取り組みとしまして、働き方改革について推し進められているところでございまして、本市におきましても、現状分析等行いながら、職員の働き方改革について取り組んでいるところでございまして、また、昨年の中長会議でも、本市から教員の働き方改革についてを提案しまして、他市町と意見交換等がなされたところでございまして、ことからも議題にあげさせていただいているところでございまして、教員の勤務状況から見えてくる課題等整理するなどして、意見交換等を行っていただけたらと考えております。

次に、英語教育につきましては、現在15の教育課程特例校における小学校英語教育の実施やALTの配置、小学校のイングリッシュ・コンテストの開催など、英語力向上に向けた取り組みを進められているところでございまして、次期学習指導要領の改訂では小学校での英語科の導入など、外国語教育の充実が図られることとなっておりますことから、これまでの取り組みを踏まえた今後の対応等につきまして、意見交換、協議等を行っていただきたいと考えております。

なお、これらの議題は内容によって複数回に分けて協議をいただくこともありますことを申し添えます。

これら以外にも順次、さまざまな課題が出てくるかもしれませんが、現状といたしまして、次年度においてはこれらのテーマに絞って、ゲストを交えるなどしながら、意見交換等を進められたらと考えております。

以上、簡単ですが、説明を終わります。

○企画振興部長 今、次年度のスケジュール案につきましてご説明申し上げたところでございますが、何か質問等ございましたら、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○小松教育長職務代理 30年度のテーマの中で、新しいテーマとして教員の働き方、英語教育という内容については我々教育委員も提案させていただいた内容でもありますので、ぜひやっていただきたいですけれども、このテーマをやる上で、現状といいますか、先日も教員の働き方改革については、データもかなり取られているということをお聞きしましたので、今現在がどんな状態になっているのかというようなことをある程度わかった上でこの会議をしないと、なかなか難しいという感じがします。そういう意味では、英語教育についても、今の小学校の英語というのは、今までALTとか一部やられていましたが、先生方そのものが英語の教育というところから、中学校は英語があったのですけれども、小学校は英語がないということから言えば、32年度から英語が入ることについて準備といいますか、それまでに何をやらないといけないのか、現状の問題点・課題というのを事前に調査することが必要ではないかと感じています。

それと、私の個人的な希望ですが、働き方改革、英語教育については、ぜひ現場の現役の先生方にも来ていただいて、今の働き方改革というのが校長先生とか事務局中心にいろいろ進められていると聞いているのですけれども、実際、現場で担当されている、クラブ活動の問題であるとか、保護者対応とかの問題であるとか、今、非常に本来の仕事以外に取られていることについてのしんどさがあると思ひます。現場の先生方、特に30代、40代の先生方の意見をこの場で聞きたいという思ひがあります。英語についても一緒です。32年度からの文科省の新学習指導要領にはあるのですが、それについて現場とのギャップというのは、普通に準備していけばうまいこといくのか、かなりハードルは高いのか。そのあたりの知識はないもので、こういうテーマをやるのであれば、少しそのあたりの準備と内容を教えていただきたいという気持ちはあります。

○本田委員 小松さんのおっしゃることは、そのとおりだと思ひます。今、県の方からの取り組みの方針も出ているので、事務局でもいろいろと調査したりとか、資料を用意とかしてくれたり、保護者の呼びかけとか、進めてくれているとは思ひのですが、今すぐどうにかできる問題ではないので、時間をかけていろいろな意見を交わすことによって、課題解決の道が見つかってくる一助となればいいと思ひます。それから、教職員だけでなく、市の職員もですが、保育園とか幼稚園とか、幼児教育もひっくるめてできるといいかと思

います。

○市長 用意していただいたデータを精査して、それをベースに議論していきたいと思えますし、現場の先生方にいろいろとお聞かせいただいて、ちなみに今年度、首長会議でも、働き方改革について細かい県からのレポートというか、報告書の類を何十種類あるというようなリストを出して、まずそれを改善してくれたら随分変わるという話がありましたけれども、首長会議というのが、当面なくなりましたので、そういう場はこれからないですが、具体的にそうした改革・改善できることがあれば、個別具体的に県に対しても要請を出していきたいと思っていますし、そうした現状把握というのは重要だと思いますので、その辺のところは段取りをして、検証させてもらいたいと思います。ほかにも何かあったら、おっしゃってください。同じように教育委員会の方に対して、お願いすることもあると思いますので。

○小松教育長職務代理 この総合教育会議の中で、去年は幼児教育の考え方について、講師の先生に来ていただいて、こういう見方があることで講演をいただいたわけですが、この働き方改革あるいは英語教育についても、例えば民間のそういう先生方といいますか、学識経験者とか、英語だと民間のいろいろな塾もありますが、参考になるような方がいらっやったら、こういう場で世間の進んでいるところの事例などを紹介していただきたいと思います。我々の知っている知識の中だけで話をするというのはなかなか限界があるので、この辺は事務局の方、よくご存知だと思います。

先日もICTの関係で、草津市の教育委員会の方に紹介を受けて連れて行っていただいたのです。草津市さんはいろいろそういうことを考えてやられているので、そういうことの交流といいますか、参考になったところもありました。だから、そんなに遠くでなくても県内でも進んでいるところがあれば、そういうところとの交流ができたと思います。

○永濱委員 今、小松委員の言われたそのまま同意見ですけれども、複数のいろいろな現場の方、学識経験者というか、有識者の方。そういう方が集まって話をするに当たっては、こういう総合教育会議の場で議論する方が言いやすいかという気はするのですが、お時間とかあると思いますので、可能な範囲で調整をして呼んでいただければよいと思います。よくネットとかいろいろな情報で見ますと、教職員の働き方改革に関しては、ネガティブに言われる方が多いと感じます。いろいろな報告書、事務作業の多忙さ、そして、クラブ活動。これがメインであるということで、廃止的なことばかりを。個人的には、廃止するばかりがいいとは思っていません。ただ、ネガティブなことを言う有識者が割と多いの

で、選別には注意が必要かと思えます。

○本田委員 事務局の方で現場や現場の管理職の先生の話の聞いたりとか、実際にデータを取って現状をある程度、私たちの方に流してくださるので、それはすごくありがたいのですけれども、実際に子供と向き合ったり、部活にかかわったり、保護者の対応にかかわったりしている先生方の声をもっとダイレクトに聞きたいという思いもあります。決して、これは省いたほうがいいのかというだけでなく、これだけは絶対欠かせない、教育の中では大事なことだと思えるような意識だとか、そういうことも多分考えていらっしゃると思うので、苦悩や悩みとかになるかもわかりませんが、そういう話も直に聞けるとよいという思いもあります。

○教育長 教育委員会の中だけでは解決できないというか、幅があるような問題を積極的に取り上げていただけると、よいと思う。例えば、前もお話したのですが、小学校に本格的に英語の勉強が入ってくるということで、小学校の子供の生活の中にもっと英語が入ってくるような社会的なシステムを整理しておかないといけない。例えば、小学校の子供が自然に生活の中で英語を使うような部分。例えば、案内板みたいなものもそうかもしれませんが、そういうものをしないと学校の授業の中だけで英語をやっていたら、小学校の子供の生活に英語が入っていかない。要するに、英語環境の整備。ひょっとしたら、幼稚園や保育園からしておかないといけない。英語の音とか、歌とか、文字になれていないと、小学校でいきなり英語をやりだしたら違和感を感じてしまいます。

その他にも、この間からインフルエンザがすごくはやりまして。子供の健康というものを教育委員会の中でやってしまうと、学校の定期健康診断の話とかになりやすいので、もっと広い取り組みはないのかとか。子供の虫歯の治療率の問題というのは課題になっておりますし、よく聞くのは、給食が本格的に始まってから食物アレルギーの対応とか出てきています。そういう子供の健康ということも、話題になっていいのかとか。教育委員会の中だけで十分解決できない、非常に幅の広い問題です。

今、職員の働き方改革、教員の働き方改革の中で、中学校の部活とか、いろいろ話題になることが多いですけれども、これは教育委員会のレベルを超えらると思う。学校体育とか、学校の部活動以外のスポーツの機会。総合型スポーツクラブをどういうふうに根づかしていくとか、そういうのは教育委員会の方ではどうしてもできる話ではないので、産業として成り立たないといけないスポーツクラブというのが育ってこない、学校の部活動に対する過剰な期待みたいな、マイナス効果を引き起こすということは心配しないといけない

ので、そういう話題があってもいいかと。

どうしても教育問題といたら、普通、いろいろなところに教育問題と書いてある中から探してしまうんですけども、総合教育会議なので、幅広く一般的な施策の中で教育に影響が出てくるような問題はもっと議論されてもいいのではないかと思うところございまして、これは職員や事務局だけでは手に負えないはずで、そういうところ議論できたらいいかと思えます。

○市長 市長部局でやらせていただいているいろいろな施策についても、情報に接していただいて、教育委員会で活用できる部分も取り組まれたり、積極的にやっていただきたいと思いがあると、彦根にはミシガン州立大学の連合センターがありますし、英語を母国とした生徒が常時30人とか40人とかおりますので、うまく活用いただく。経済学とか、滋賀大学、その辺のところ、待望感も含めて交流をしていますので、もっとそれを活用できればいいと思うのと、ICTも含めて、今度、学校現場もタブレットパソコンに変わっていくのですが、我々の事務所でもそうですけれども、テレビ会議ができるようになっていきますので、一時、城西小学校とオーストラリアのアデレードと、今も続いている。そういうところもどんどんやっていただいたらいいと思えますし、今年予算も認めていただいて2020年オリンピック・パラリンピックに向けて、スペインのホストタウンになる可能性がありますので、そうした外国との交流というのを促進していきますので、教養として英語を使いながら国際交流も深めていっていただきたいと思えます。アナーバーとは中学生の交流を深めて、一時、応募者数が少なかったのですが、このところ前の2倍ぐらいになっているそうなのですばらしいことだと思います。中国も再開しましたので、そうした市長部局が積極的にやっている施策の面で展開していただいたら、さらにいいと思えます。その辺の情報も詳細をお伝えしながら、相乗効果を上げていければと思います。

また、子供たちの通院医療費の助成を小学校3年生まで拡大していますけれども、重要なことは健康維持することだと思いますので、その辺りもやらせてもらいたいと思えますのと、あとはスポーツです。国体に向けて、どういうふうに取り組を進めていくかというのは、具体的に昨日も指導教諭の話が首長会議にも出ていましたが、その辺を具体的に進めていかないといけないと思えます。今日、少しだけ東高の試合を見ていましたら、みなクラブチームですね。選手の紹介の中学時代のところに書かれていました。そういう子らが総合スポーツクラブでしょうね、多分。

○教育長 そこまでは行ってない。スポーツ少年団とか。クラブチームが全部、総合型に

なっているかどうかは別です。

○市長 特に彦根の場合は、残念ながら小学校でチームができなくなってきましたので、ホッケーですらだめなんでしょう。若葉はチームができないでしょう。だから、学校単位では難しくなっていると思うのです。ですから、鳥居本の問題もありますが、ほかでは高宮とか河瀬とか校舎がふえているのですけれども、他方で減ってガラガラというところもあります。いろいろな課題がありますので、協同して取組を進めたいと思います。

○小松教育長職務代理 これらのテーマは、結構、幅が広いですよ。働き方にしても、英語にしても1回2時間程度の話し合いですが、別に何回やってもいいとは思いますが、そういうことであれば、テーマもどういうアウトプットを目標にするか、何を話し合いするのか、その辺を絞ってやるのか。進め方も工夫をするほうがよいかもしいないですが、その辺がこういうテーマは非常に難しいというふうに思っています。

○市長 適宜、調整をさせていただきながら、きちんと進められるようにしなければならないと思います。

○小松教育長職務代理 我々教育委員も、いろいろ勉強しないといけないと思っています。情報としては、確かに永濱さんが言われたネットとか、キーワード入れたらいろいろな情報が出てくるわけですが、現場の先生方とか、何が問題なのかというところへなかなか接する機会も少ないので、そこがスタートかと思っています。

○市長 教育委員会会議を各学校でやっていただくとか。趣向を凝らしてやってもらってください。

○本田委員 認識不足かもわかりませんが、こういう会をもつような制度になって、市長さんは今までも十分知っておられると思いますが、彦根の子供たちの現状とか、そういうことはいっぱい出てくる一つの場でもあるので、それだけでも有意義だと思っていて、すぐに解決ができるわけではないですが、教育委員会の方だけではどうにもならないことも含めて、市長さんといろいろなことを調整・協議をしながら、彦根を背負う子供たちのことですから、できるだけ収束したほうがいいには決まっているのですが、そういうことを話し合うこと自体すごく有意義だったと、私自身は認識しています。いろいろなこと話したり、聞いていただいたりすること自体が、すごく有意義なこの1年間になったかと思っています。

○市長 今後も、課題の整理をしながら、やっていきましょう。

○小松教育長職務代理 何回目にも何をテーマするというのは、まだこれから決めようとい

うことでしょうか。

○事務局 そのあたりについては、先ほどおっしゃられたように、調査・準備が必要なこともあると思われますので、調整をしながら、あらかじめ連絡させていただきたいと思っています。

○市長 また、事前の課題整理をした方がいいですね。

○企画振興部長 そうしましたら、準備をさせていただくに当たって、次回までの資料をこんな感じですとか、考えさせていただきたい提示させていただきたいと思います。そのほか、何かありますでしょうか。

○小松教育長職務代理 済みません、1点いいですか。総合教育会議のテーマの候補の中に入れさせてもらったのですが、彦根市の社会教育委員の会議というのをやられてまして、今、委員長が滋賀大学の森先生で4つの部会に分かれてやっておられる。その中で、子供の教育の中でいろいろ企業の協力ももらおうということで、「ひこふぁみ」という形で、企業に行って、従業員の方に学校のいろいろな行事に関心をもってもらうとか、地域の活動の一環として、広められている活動があります。企業の方が提携や協定のような形で契約を結ぶのですが、会社の名前と彦根市の社会教育会議等が協定を結んで、ポスターをはってもらったり、1年間の協議の結果の報告もしてもらうのですが、今、企業の方は契約とかいうことについては神経質になっておられまして、はっきりした協会とかそういうところでないとだめだということで。何が言いたいかといいますと、このお願い状の中に、例えば市長がこういうことも考えていますということで、大久保市長の名前があればまた違うと思います。これは彦根市としてやっていますと。この会議は、教育委員会の生涯学習課も一緒にやられています。私も前に市長の推薦とかがあれば、企業としてはいろいろ安心もできるし、と言ったことがあるのですが、なかなか進んでいないのが現状です。あんまり市長に説明されてないのかもわかりませんが。

○市長 社会教育会議という歴史ある団体ですね。

○小松教育長職務代理 かなり前からやられていると思う。こういうことを企業に対するお願い状とかいうことになると、市長の名前が入っていたら、企業としての安心感があると思うのです。

○市長 企業さんにも説明させてもらわないといけません。

○小松教育長職務代理 説明には行っています。説明は生涯学習課とか、森先生とか、私もこの間、パナソニックに行って、「こういう活動だから、協力してくれ」ということで

お願いしました。ほかの大手企業からは断られているのです。

○市長 何をお願いに行かれたのですか。

○小松教育長職務代理 協定の『ひこふぁみ』ということの推進の企業になってくださいとお願いしました。

○本田委員 職場体験とか、そういうこと。

○小松教育長職務代理 職場体験もあるのですが、そういう活動を「ここはやってます」ということを宣言するのです。そういう制度を作られたわけです。もともと県にあったものを彦根市版に作られたと聞いています。

○教育部長 「イクボス」に似たもので、これも企業さんで休みを取っていただいて、家庭あるいは子供の授業参観に出やすくするような体制をつくりましょうというような目標でやっておられて、県でも管理職を中心に「イクボス」ということで取り組まれていますけれども。

○市長 企業さんにもプラスになる話だと思いますが。

○小松教育長職務代理 そうなんです。そんなに難しいことではないです。難しいことではないですが、契約書を交わすという方法があるということは、会社の名前のある程度トップの印鑑がいるわけです。そういうことになると、「社会教育委員の会は何なのか」という話が出てくるわけです。

○市長 また、あらためて具体的にその話はしましょう。

○小松教育長職務代理 今、こういうことを広げようとされているので、後押しで、広がるのであればいいかと個人的に感じたわけです。また、話を聞いていただきたい。

○市長 わかりました。

○企画振興部長 その他、何かございますでしょうか。よろしいですか。

それでは無いようでございますので、本日の議題といたしましては、これで終了いたします。今回で、今年度の最後の会となりますので、市長より一言御挨拶をいただきたいと思えます。

○市長 皆様、ありがとうございます。平成29年度も無事に年度末を迎えることになりました。年間通じまして、総合教育会議でさまざまなご議論いただいて、可能な限りの皆様のご意見の反映というのはさせていただいたと思っておりますが、まさにこれから平成30年度予算を執行して、事業を進めていくということになっていくわけでございます。しっかりと成果が出ますように、協力してやらせていただきたいと思っております。

ただ、一方で大変財政事情は厳しいというところもございまして、30年度大きな予算執行をしながら、31年度に向けて既にさまざまなスクラップアンドビルドも含めて、取り組んでいかなければならないということもございます。できるだけ、既存の事業を改変するなり、新しいものに取り組むにあたっては整理もしながら、全体の効率的な執行というところを目指して進んでいかなければならないと思っております。今年度始まる大きな予算、いろいろな事業をしながら、その執行を管理し、そしてその効果を見極めながら、スリムな効率的な全体の再構築に向けて、30年度を進めていきたいと思っております。そうした状況を踏まえつつ、30年度も皆様方には十分なるご議論を頂戴して、彦根市の総合教育会議の成果を出していきたいと思っておりますので、どうぞご協力のほどお願い申し上げます。ありがとうございました。

○企画振興部長 ありがとうございました。

これをもちまして、平成29年度第5回目彦根市総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。

(終了)